

## 病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院149施設、有床診療所193施設のうち、報告があった病院149施設(100.0%)、有床診療所182施設(94.3%)を対象として集計した結果

○平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

《2015(平成27)年7月1日時点の病床数(稼働病床)》 → 《6年が経過した日(2021(平成33)年)における病床数(稼働病床)》

二次医療圏名	機能区分	一般	療養	計	構成比	一般	療養	計	構成比
静岡県全体	高度急性期	4,936	0	4,936	16.0%	5,120	0	5,120	16.6%
	急性期	12,804	11	12,815	41.5%	12,422	89	12,511	40.6%
	回復期	1,552	1,622	3,174	10.3%	1,677	1,925	3,602	11.7%
	慢性期	1,380	8,559	9,939	32.2%	1,384	8,178	9,562	31.1%
	合計	20,672	10,192	30,864		20,603	10,192	30,795	
01 賀茂	高度急性期	8	0	8	1.1%	8	0	8	1.1%
	急性期	275	0	275	39.3%	275	0	275	39.3%
	回復期	70	41	111	15.9%	42	41	83	11.9%
	慢性期	48	258	306	43.7%	76	258	334	47.7%
	小計	401	299	700		401	299	700	
02 熱海伊東	高度急性期	64	0	64	6.1%	64	0	64	6.1%
	急性期	535	0	535	50.9%	535	0	535	50.9%
	回復期	90	31	121	11.5%	90	31	121	11.5%
	慢性期	68	264	332	31.6%	68	264	332	31.6%
	小計	757	295	1,052		757	295	1,052	
03 駿東田方	高度急性期	721	0	721	11.1%	721	0	721	11.1%
	急性期	3,189	0	3,189	49.1%	3,028	0	3,028	46.6%
	回復期	238	413	651	10.0%	293	413	706	10.9%
	慢性期	269	1,664	1,933	29.8%	375	1,664	2,039	31.4%
	小計	4,417	2,077	6,494		4,417	2,077	6,494	
04 富士	高度急性期	66	0	66	2.4%	108	0	108	4.1%
	急性期	1,502	0	1,502	54.4%	1,454	0	1,454	55.4%
	回復期	138	237	375	13.6%	138	330	468	17.8%
	慢性期	130	688	818	29.6%	0	595	595	22.7%
	小計	1,836	925	2,761		1,700	925	2,625	
05 静岡	高度急性期	1,610	0	1,610	26.7%	1,659	0	1,659	27.3%
	急性期	1,885	0	1,885	31.2%	1,864	0	1,864	30.6%
	回復期	252	267	519	8.6%	266	327	593	9.7%
	慢性期	444	1,583	2,027	33.6%	444	1,523	1,967	32.3%
	小計	4,191	1,850	6,041		4,233	1,850	6,083	
06 志太榛原	高度急性期	243	0	243	7.3%	243	0	243	7.3%
	急性期	1,826	3	1,829	54.6%	1,813	35	1,848	55.1%
	回復期	241	125	366	10.9%	254	128	382	11.4%
	慢性期	0	913	913	27.2%	0	878	878	26.2%
	小計	2,310	1,041	3,351		2,310	1,041	3,351	
07 中東遠	高度急性期	288	0	288	10.3%	381	0	381	13.7%
	急性期	1,138	0	1,138	40.8%	1,045	0	1,045	37.4%
	回復期	213	136	349	12.5%	213	136	349	12.5%
	慢性期	0	1,016	1,016	36.4%	0	1,016	1,016	36.4%
	小計	1,639	1,152	2,791		1,639	1,152	2,791	
08 西部	高度急性期	1,936	0	1,936	25.2%	1,936	0	1,936	25.1%
	急性期	2,454	8	2,462	32.1%	2,408	54	2,462	32.0%
	回復期	310	372	682	8.9%	381	519	900	11.7%
	慢性期	421	2,173	2,594	33.8%	421	1,980	2,401	31.2%
	小計	5,121	2,553	7,674		5,146	2,553	7,699	

集計対象 30,985床

※医療機能について未選択の121床は、上表には含めていない。

※医療機能について未選択の190床は、上表には含めていない。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院149施設、有床診療所193施設のうち、報告があった病院149施設(100.0%)、有床診療所182施設(94.3%)を対象として集計した結果

○平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

【2015(平成27)年7月1日時点の病床数(稼働病床)】

医療圏名 医療機能		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
全体	高度急性期	4,936床 16.0%	8床 1.1%	64床 6.1%	721床 11.1%	66床 2.4%	1,610床 26.7%	243床 7.3%	288床 10.3%	1,936床 25.2%
	急性期	12,815床 41.5%	275床 39.3%	535床 50.9%	3,189床 49.1%	1,502床 54.4%	1,885床 31.2%	1,829床 54.6%	1,138床 40.8%	2,462床 32.1%
		回復期	3,174床 10.3%	111床 15.9%	121床 11.5%	651床 10.0%	375床 13.6%	519床 8.6%	366床 10.9%	349床 12.5%
	慢性期	9,939床 32.2%	306床 43.7%	332床 31.6%	1,933床 29.8%	818床 29.6%	2,027床 33.6%	913床 27.2%	1,016床 36.4%	2,594床 33.8%
		合計	30,864床	700床	1,052床	6,494床	2,761床	6,041床	3,351床	2,791床
	一般病床	高度急性期	4,936床	8床	64床	721床	66床	1,610床	243床	288床
急性期		12,804床	275床	535床	3,189床	1,502床	1,885床	1,826床	1,138床	2,454床
回復期		1,552床	70床	90床	238床	138床	252床	241床	213床	310床
慢性期		1,380床	48床	68床	269床	130床	444床	0床	0床	421床
小計		20,672床	401床	757床	4,417床	1,836床	4,191床	2,310床	1,639床	5,121床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	11床	0床	0床	0床	0床	0床	3床	0床	8床
	回復期	1,622床	41床	31床	413床	237床	267床	125床	136床	372床
	慢性期	8,559床	258床	264床	1,664床	688床	1,583床	913床	1,016床	2,173床
	小計	10,192床	299床	295床	2,077床	925床	1,850床	1,041床	1,152床	2,553床

※集計対象30,985床のうち、医療機能について未選択の121床は、上表には含めていない。



【6年が経過した日(2021(平成33))年における病床数(稼働病床)】

医療圏名 医療機能		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
全体	高度急性期	5,120床 16.6%	8床 1.1%	64床 6.1%	721床 11.1%	108床 4.1%	1,659床 27.3%	243床 7.3%	381床 13.7%	1,936床 25.1%
	急性期	12,511床 40.6%	275床 39.3%	535床 50.9%	3,028床 46.6%	1,454床 55.4%	1,864床 30.6%	1,848床 55.1%	1,045床 37.4%	2,462床
		回復期	3,602床 11.7%	83床 11.9%	121床 11.5%	706床 10.9%	468床 17.8%	593床 9.7%	382床 11.4%	349床 12.5%
	慢性期	9,562床 31.1%	334床 47.7%	332床 31.6%	2,039床 31.4%	595床 22.7%	1,967床 32.3%	878床 26.2%	1,016床 36.4%	2,401床 31.2%
		合計	30,795床	700床	1,052床	6,494床	2,625床	6,083床	3,351床	2,791床
	一般病床	高度急性期	5,120床	8床	64床	721床	108床	1,659床	243床	381床
急性期		12,422床	275床	535床	3,028床	1,454床	1,864床	1,813床	1,045床	2,408床
回復期		1,677床	42床	90床	293床	138床	266床	254床	213床	381床
慢性期		1,384床	76床	68床	375床	0床	444床	0床	0床	421床
小計		20,603床	401床	757床	4,417床	1,700床	4,233床	2,310床	1,639床	5,146床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	89床	0床	0床	0床	0床	0床	35床	0床	54床
	回復期	1,925床	41床	31床	413床	330床	327床	128床	136床	519床
	慢性期	8,178床	258床	264床	1,664床	595床	1,523床	878床	1,016床	1,980床
	小計	10,192床	299床	295床	2,077床	925床	1,850床	1,041床	1,152床	2,553床

※集計対象30,985床のうち、医療機能について未選択の190床は、上表には含めていない。

稼働病床ベース

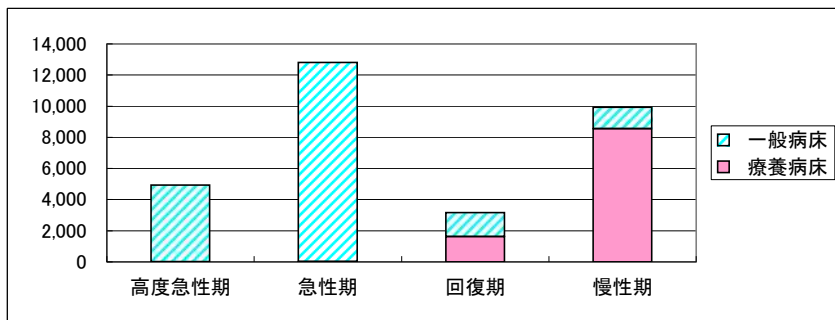
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡県）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる342施設（病院149施設、有床診療所193施設）のうち、331施設（96.8%）（病院149施設（100.0%）、有床診療所182施設（94.3%））が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、34,316床（一般病床23,308床、療養病床11,008床、平成27年4月1日現在）
- ・「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加

報告のあった331施設（病院149施設、有床診療所182施設）の稼働病床30,985床について集計したもの

《2015（平成27）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

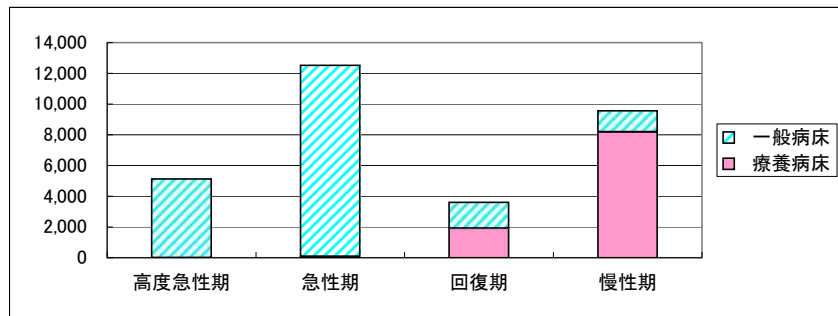


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	4,936	12,804	1,552	1,380	20,672
療養病床	0	11	1,622	8,559	10,192
合計	4,936	12,815	3,174	9,939	30,864
構成比	16.0%	41.5%	10.3%	32.2%	100.0%

(注)集計対象30,985床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が121床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2021（平成33）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	5,120	12,422	1,677	1,384	20,603
療養病床	0	89	1,925	8,178	10,192
合計	5,120	12,511	3,602	9,562	30,795
構成比	16.6%	40.6%	11.7%	31.1%	100.0%

(注)集計対象30,985床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が190床分あり、上表には含めていない。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（賀茂医療圏）】

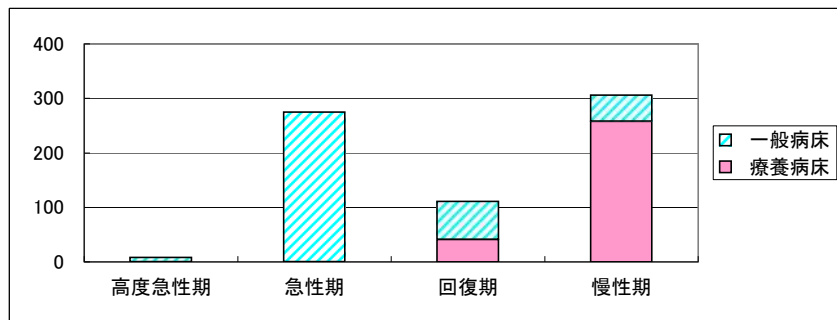
○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる10施設（病院6施設、有床診療所4施設）のうち、9施設(90.0%)（病院6施設(100.0%)、有床診療所3施設(75.0%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、890床（一般病床484床、療養病床406床、平成27年4月1日現在）
- ・平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、回復期の構成比が減少し、慢性期の構成比が増加  
 （下田メディカルセンターが、回復期28床を慢性期28床に変更予定 ※病院における変更予定を参考に記載）

※報告のあった9施設（病院6施設、有床診療所3施設）の稼働病床700床について集計したもの

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

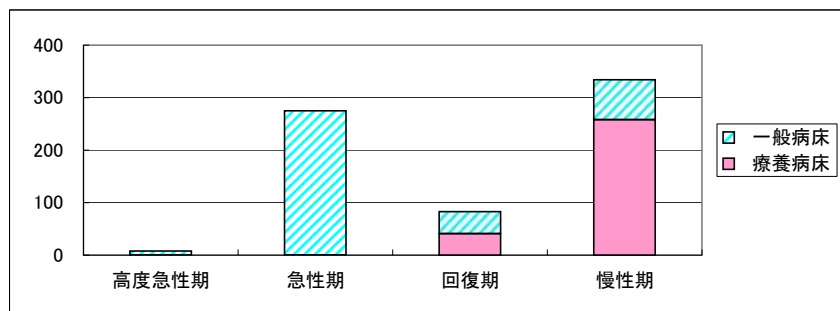


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	275	70	48	401
療養病床	0	0	41	258	299
合計	8	275	111	306	700
構成比	1.1%	39.3%	15.9%	43.7%	100.0%

(注)集計対象700床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2021(平成33)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	275	42	76	401
療養病床	0	0	41	258	299
合計	8	275	83	334	700
構成比	1.1%	39.3%	11.9%	47.7%	100.0%

(注)集計対象700床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床は無い。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（熱海伊東医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

・報告対象となる19施設（病院7施設、有床診療所12施設）のうち、18施設（94.7%）（病院7施設（100.0%）、有床診療所11施設（91.7%））が報告済み。

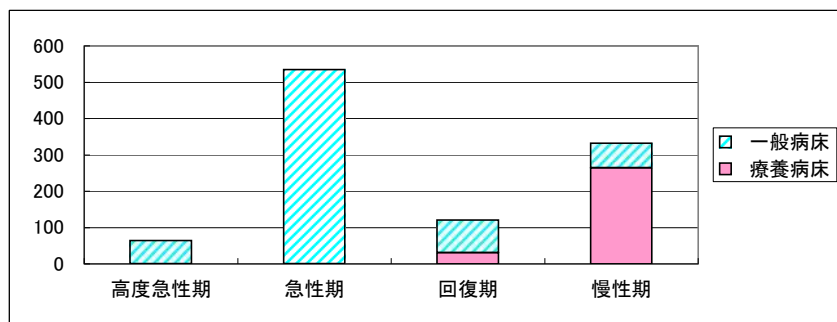
・報告対象施設における許可病床数合計は、1,155床（一般病床850床、療養病床305床、平成27年4月1日現在）

・平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、各医療機能の構成比に変化なし

※報告のあった18施設（病院7施設、有床診療所11施設）の稼働病床1,052床について集計したもの

《2015（平成27）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

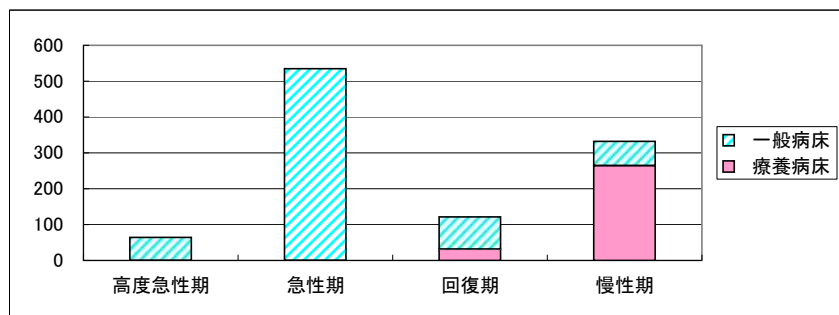


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	535	90	68	757
療養病床	0	0	31	264	295
合計	64	535	121	332	1,052
構成比	6.1%	50.9%	11.5%	31.6%	100.0%

(注)集計対象1,052床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日（2021（平成33）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	535	90	68	757
療養病床	0	0	31	264	295
合計	64	535	121	332	1,052
構成比	6.1%	50.9%	11.5%	31.6%	100.0%

(注)集計対象1,052床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

## 稼働病床ベース

### 病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（駿東田方医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

・報告対象となる92施設（病院43施設、有床診療所49施設）のうち、90施設(97.8%)(病院43施設(100.0%)、有床診療所47施設(95.9%))が報告済み。

・報告対象施設における許可病床数合計は、7,411床（一般病床5,122床、療養病床2,289床、平成27年4月1日現在）

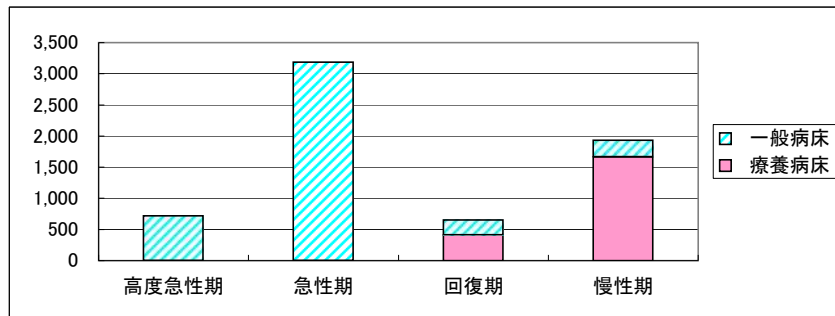
・平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、急性期の構成比が減少し、回復期、慢性期の構成比が増加

（三島東海病院が急性期55床を回復期に、東部病院が急性期60床を慢性期に、池田病院が急性期46床を慢性期に変更予定 ※病院における変更予定を参考に記載）

#### ※報告のあった90施設（病院43施設、有床診療所47施設）の稼働病床6,508床について集計したもの

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

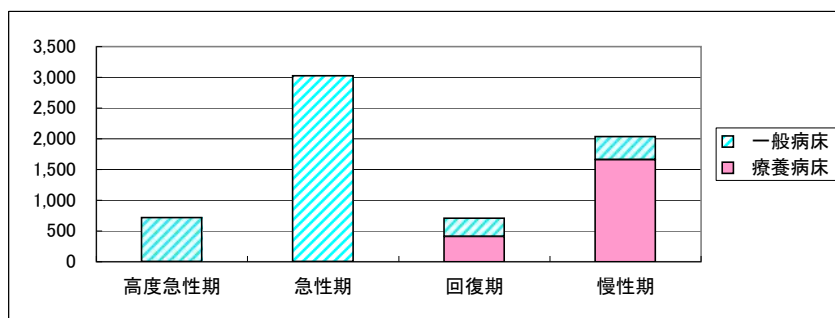


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	721	3,189	238	269	4,417
療養病床	0	0	413	1,664	2,077
合計	721	3,189	651	1,933	6,494
構成比	11.1%	49.1%	10.0%	29.8%	100.0%

(注)集計対象6,508床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が14床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2021(平成33)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	721	3,028	293	375	4,417
療養病床	0	0	413	1,664	2,077
合計	721	3,028	706	2,039	6,494
構成比	11.1%	46.6%	10.9%	31.4%	100.0%

(注)集計対象6,508床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が14床分あり、上表には含めていない。

稼働病床ベース

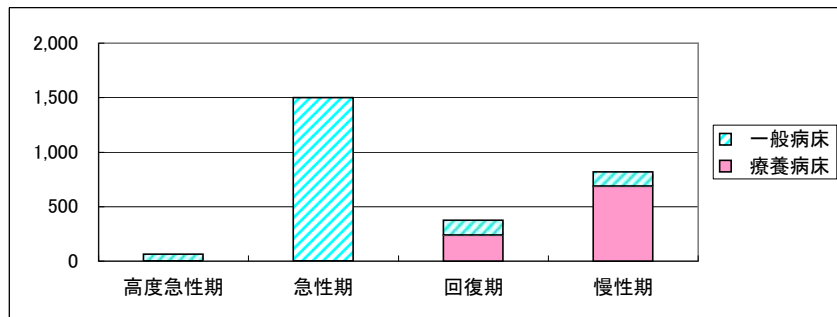
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（富士医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる41施設（病院14施設、有床診療所27施設）のうち、41施設(100.0%)(病院14施設(100.0%)、有床診療所27施設(100.0%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、3,039床（一般病床2,114床、療養病床925床、平成27年4月1日現在）
- ・平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加  
（湖山リハビリテーション病院が慢性期93床を回復期に、富士市立中央病院が急性期42床を高度急性期に、国立病院機構静岡富士病院が慢性期130床を休棟中等に変更予定 ※病院における変更予定を参考に記載）

※報告のあった41施設（病院14施設、有床診療所27施設）の稼働病床2,761床について集計したもの

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

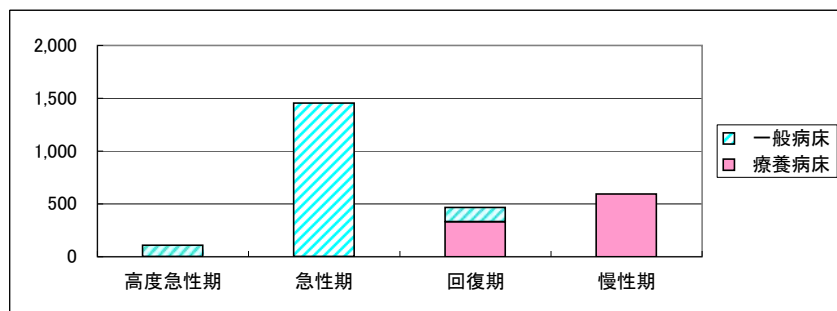


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	66	1,502	138	130	1,836
療養病床	0	0	237	688	925
合計	66	1,502	375	818	2,761
構成比	2.4%	54.4%	13.6%	29.6%	100.0%

(注)集計対象2,761床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2021(平成33年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	108	1,454	138	0	1,700
療養病床	0	0	330	595	925
合計	108	1,454	468	595	2,625
構成比	4.1%	55.4%	17.8%	22.7%	100.0%

(注)集計対象2,761床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が136床分あり、上表には含めていない。

稼働病床ベース

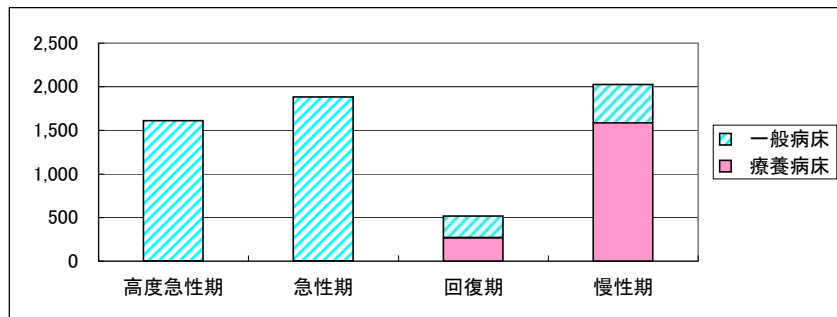
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる50施設（病院24施設、有床診療所26施設）のうち、45施設(90.0%)(病院24施設(100.0%)、有床診療所21施設(808%)が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、6,857床（一般病床4,876床、療養病床1,981床、平成27年4月1日現在）
- ・平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加（静岡県立総合病院が高度急性期を49床増予定、白萩病院が慢性期60床を回復期に、静岡市立清水病院が急性期14床を回復期に変更予定 ※病院における変更予定を参考に記載）

※報告のあった45施設（病院24施設、有床診療所21施設）の稼働病床6,099床について集計したもの

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

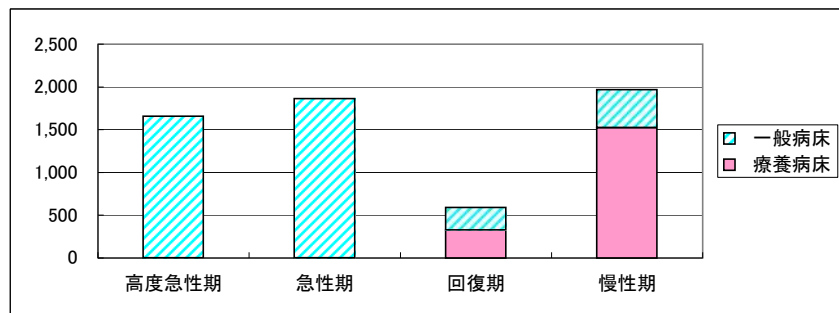


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,610	1,885	252	444	4,191
療養病床	0	0	267	1,583	1,850
合計	1,610	1,885	519	2,027	6,041
構成比	26.7%	31.2%	8.6%	33.6%	100.0%

(注)集計対象6,099床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が58床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2021(平成33)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,659	1,864	266	444	4,233
療養病床	0	0	327	1,523	1,850
合計	1,659	1,864	593	1,967	6,083
構成比	27.3%	30.6%	9.7%	32.3%	100.0%

(注)集計対象6,099床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が16床分あり、上表には含めていない。



## 稼働病床ベース

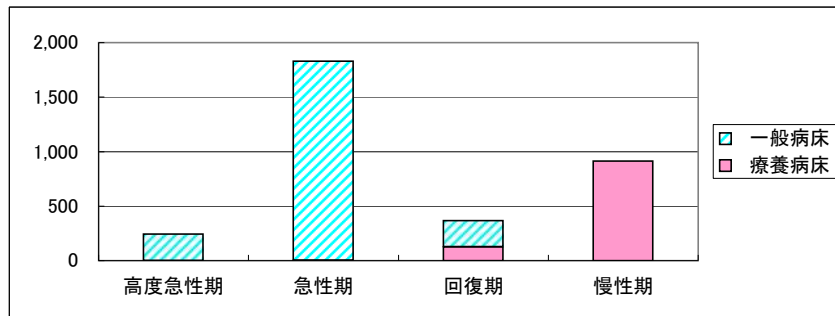
### 病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（志太榛原医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる27施設（病院11施設、有床診療所16施設）のうち、27施設(100.0%)（病院11施設(100.0%)、有床診療所16施設(100.0%)）が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、3,607床（一般病床2,525床、療養病床1,082床、平成27年4月1日現在）
- ・平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、急性期、回復期の構成比が増加  
（市立島田市民病院が、慢性期35床を急性期に変更予定 ※病院における変更予定を参考に記載）

#### ※報告のあった27施設（病院11施設、有床診療所16施設）の稼働病床3,351床について集計したもの

《2015（平成27）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

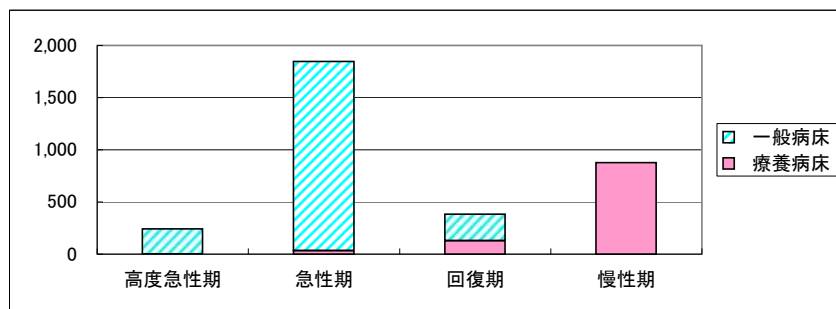


（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	243	1,826	241	0	2,310
療養病床	0	3	125	913	1,041
合計	243	1,829	366	913	3,351
構成比	7.3%	54.6%	10.9%	27.2%	100.0%

（注）集計対象3,351床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日（2021（平成33）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	243	1,813	254	0	2,310
療養病床	0	35	128	878	1,041
合計	243	1,848	382	878	3,351
構成比	7.3%	55.1%	11.4%	26.2%	100.0%

（注）集計対象3,351床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床は無い。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（中東遠医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

・報告対象となる30施設（病院14施設、有床診療所16施設）のうち、29施設(96.7%)(病院14施設(100.0%)、有床診療所15施設(93.8%))が報告済み。

・報告対象施設における許可病床数合計は、3,185床（一般病床1,826床、療養病床1,359床、平成27年4月1日現在）

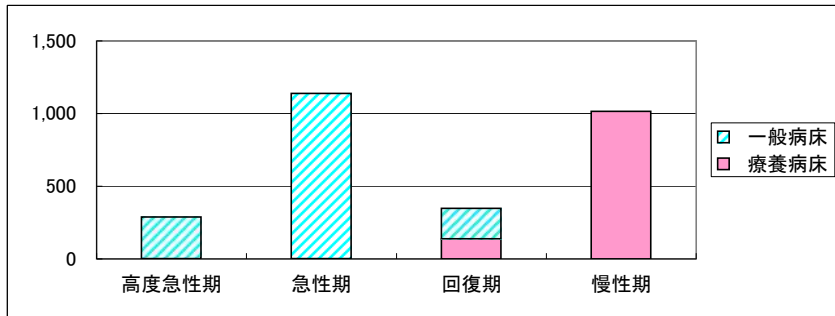
・平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、急性期の構成比が減少し、高度急性期の構成比が増加

（磐田市立総合病院が急性期43床を高度急性期に、中東遠総合医療センターが急性期50床を高度急性期に変更予定  
※病院における変更予定を参考に記載）

※報告のあった29施設（病院14施設、有床診療所15施設）の稼働病床2,791床について集計したもの

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

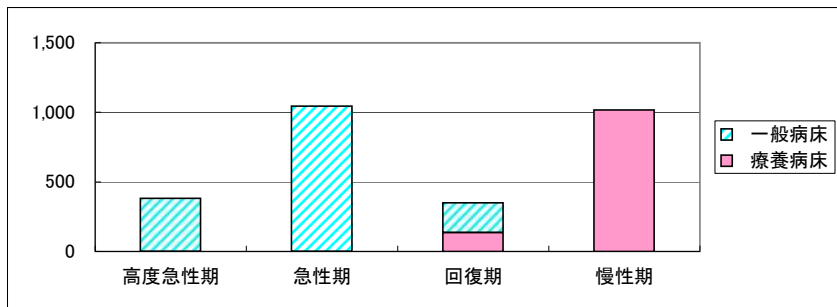


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	288	1,138	213	0	1,639
療養病床	0	0	136	1,016	1,152
合計	288	1,138	349	1,016	2,791
構成比	10.3%	40.8%	12.5%	36.4%	100.0%

(注)集計対象2,791床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2021(平成33)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	381	1,045	213	0	1,639
療養病床	0	0	136	1,016	1,152
合計	381	1,045	349	1,016	2,791
構成比	13.7%	37.4%	12.5%	36.4%	100.0%

(注)集計対象2,791床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（西部医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

・報告対象となる73施設（病院30施設、有床診療所43施設）のうち、72施設(98.6%)(病院30施設(100.0%)、有床診療所42施設(97.7%))が報告済み。

・報告対象施設における許可病床数合計は、8,172床（一般病床5,511床、療養病床2,661床、平成27年4月1日現在）

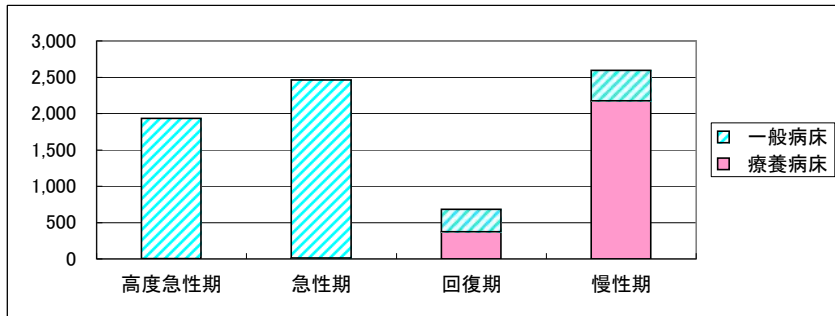
・平成27年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加

（松田病院が急性期を18床増予定、すずかけセントラル病院が慢性期46床を急性期に、十全記念病院が慢性期134床を回復期に、浜松赤十字病院が急性期52床を回復期に、天竜すずかけ病院が慢性期110床を回復期に変更予定 ※病院における変更予定を参考に記載）

※報告のあった72施設(病院30施設、有床診療所42施設)の稼働病床7,723床について集計したもの

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

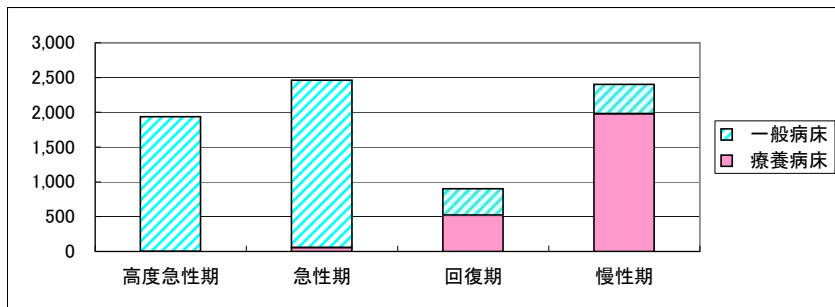


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,936	2,454	310	421	5,121
療養病床	0	8	372	2,173	2,553
合計	1,936	2,462	682	2,594	7,674
構成比	25.2%	32.1%	8.9%	33.8%	100.0%

(注)集計対象7,723床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が49床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2021(平成33)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,936	2,408	381	421	5,146
療養病床	0	54	519	1,980	2,553
合計	1,936	2,462	900	2,401	7,699
構成比	25.1%	32.0%	11.7%	31.2%	100.0%

(注)集計対象7,723床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床が24床分あり、上表には含めていない。